

SOUSAKU

創作手工芸

CONTENTS

- 2 会長あいさつ
- 3 第43回創作手工芸展レポート
- 4 受賞作品紹介
- 5 講習会レポートとお知らせ
- 6 会員のページ
- 7 お知らせのページ
- 8 移転のお知らせと編集後記

新 年 度 挨 拶



(財)日本手芸作家連合会

会長 花村 邦 昭

われわれの人生はつねに複雑な事象に取り囲まれています。意識するしないに関わらずわれわれはそれらに対して次の二通りの手法でいつも立ち向かっています。

一つは、その複雑事象を成り立たせている諸要因を調べてみて、その諸要因からどんな論理を経て斯く斯くの結果がもたらされたのかをいろいろと推論してきて、これから同じような事象に出会したときにどうすれば最も効果的な対処ができるかを考えて、その具体的な対処方策を一般理論として導き出そうとするやり方です。このような考え方を「要素還元主義的機械論パラダイム」と称します。二十世紀機械文明の発達はこのパラダイムがもたらした大きな成果と云えます。しかし、このパラダイムはすでにあちこちで綻びや行き詰まりを見せております。地球環境問題、資源枯渇問題、人口問題、食糧問題、格差問題、就中、貧困・難民・南北問題、等々みなそうだと云っても過言ではないでしょう。

では、それに代わるべき21世紀をリードする新しいパラダイムとして何があるのでしょうか。それが「包括主義的生命論パラダイム」です。「すべてはすべてと繋がっている。この世になくても良いものは何一つ存在しない。みな支え合って共通の“いのち”を生きているのだから、すべてはトータル（包括的）に捉えねばならない。いま求められているのは共生の思想だ」といのがその基本の考え方です。

わが「日本手芸作家連合会」が拠って立つ基本の考え方も、この「生命論パラダイム」に近いところにあると云ってよいのではないのでしょうか。その点について以下すこし敷衍します。

日本の伝統的「手工芸」の考え方の特徴は、単純化して言えば次の二点に集約されます。

(1) 利用できるものは何でも活かして使おう

(2) 創意工夫によってつねに新機軸を生み出そう

です。これは上記の「生命論パラダイム」の考え方に通じています。

哲学用語で云えば、それは

(1) 「アフォーダンス」、すなわちく不足やあるいは障害があっても、それを自分の味方に変えていく逞しさ>

(2) 「アブダクション」、つまりく繰り返し構想を練り直しながら、そこから不断に新しい価値を産出していく革新性>

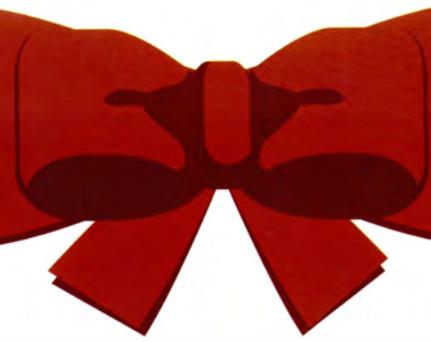
です。この「アフォーダンス」「アブダクション」は「生命論パラダイム」の基軸をなす哲学です。

「機械論パラダイムによる“ものづくり”」を得意としてきた我が国資本主義経済は、ここに来て中国・インド・ブラジル・ロシアなどのいわゆる Brics 諸国にそのお株を奪われ、どっちへ進めばよいか方向性を見失っています。厳しい国際競争場裏にあって日本の独自性をどう再構築していくかがいま問われているのです。

そのような迷いの時には、原点に帰るに如くはありません。その帰るべき原点が「生命論パラダイムに基づく“日本の伝統手工芸”」なのではないかというのが私の言わんとするところです。これまでの資源多消費型の「ものづくり資本主義」から、資源節約・創意工夫に主眼を置くいわば「手工芸的資本主義」への転換がそれです。目指すべきは、我が国が得意としてきた「素材の潜在価値を引き出す先端的な部品開発技術」や「マイクロ・ナノの超微細世界に挑む精密加工技術」等を駆使した「日本資本主義の手工芸的文化資本主義への文明史的転換」です。

日本手芸作家連合会の活動を通して、これからの日本を背負って立つ若い人たちや次世代の子供たちに、日本の伝統的手工芸文化を広く伝承していくことができるなら、それはやがてこのような日本経済社会の新たな文明史的展開にも繋がっていくのではないのでしょうか。日本手芸作家連合会がそのような役割の一端でも担えるなら、私といたしましてもこれに過ぎる喜びはありません。

第43回 創作手工芸展 レポート



審査委員長 大 矢 紀



第43回創作手工芸展は、都の美術館修復工事の為、千代田区三番町の大妻学院を会場に平成22年10月20日から27日まで盛大に開催されました事をまずもってお祝申しあげます。

私は日展の工芸を始めとして各デパートなどで開催されて来た手工芸展を数多

く拝見して来ましたが、扱ってそれらを審査する立場になって、たゞおもしろいな！こう云う作り方もあるのだと漫然と見ていたものが、これは大変と自分の仕事（日本画）と同様に本当気合いを入れて審査にのぞみました。そして感じたのは大きな日展等と比べてのびのびと作品を創作されているなど云う事です。

文部科学大臣賞の田京はるみさんの「バラの花にかこまれて」のアップリケキルトは大変上品で華があり拝見した折にやはり一番目に止まった作品で、技術的にも素晴らしいものがありました。おめでとう御座いました。東京都議会議長賞の「豊穰—トラウベン—」の北原眞実さんの作品も大臣賞と比べても遜色がなく、素晴らしい作品でした。大妻コタカ賞「華」あだち三和子さんの作品はいろいろな卵を創造豊かに新しい視点で創られ非常

に楽しい作品でした。日本手芸作家連合会会長賞「千代の華」菅原美東さんは日本古来の「能面」と色彩豊かな「御殿毬」に挑戦され、会場に独特な雰囲気をかもしだしておられました。

審査委員長賞「清露」召田晃子さんのヨーロッパ刺繍は少し地味ながら刺繍が好きで好きでたまらないと云う感じでした。他に新人賞になりました池田節子さんの「晩」タペストリーは完成度の高い作品で次作に私は大いに御期待をしたいと思っております。奨励賞の「梅もどき」薄葉正苑さんの樹脂粘土のお作も刺繍作品が多い中特質すべきお作でした。残念ながら受賞にはならなかった入選の中にも、それぞれおもしろいものがあり又技術的にもすばらしい作品が多数ありました事を御報告させていただきます。私は物を創る上で大切な事は技術は勿論ではあるが発想の新鮮さと作家が生きているその時代の空気を反映した作品であってほしいと思うのです。作品にはこれで良いと云う事はありません。次作はもっともっとと常に前を向いて自然の中に師を求めて又それは自分自身との戦いだとも思います。皆様のさらなる努力に御期待し新しい御作品に出合います様楽しみにしております。

大矢 紀 プロフィール

日本美術院同人、評議員。NHK文化センター講師
川崎市文化財団理事



会 期：平成22年10月20日～27日

会 場：大妻学院（千代田キャンパス）

後 援：文部科学省

審査員：大矢 紀(委員長)、小笠原小枝、高部和子、
田口義明、花村邦昭、林 泉

チャリティー・バザー開催



文部科学大臣賞

「バラの花にかこまれて」

(アップリケキルト)

田京 はるみ

突然の受賞の知らせを戴き、喜びよりも驚きの方が大きかった事を覚えています。此度沢山の入選作品を拝見し、手工芸の多様性に認識を新たに致しました。丹精込めた作品は何物にも変えられない崇高さがあります。少しでも多くの方々に手仕事の大切さ、豊かさを理解し、参加して戴く様に今後共、努力していきたいと考えております。



東京都議会議長賞
「豊穰—トラウベン—」
(パテンレース)
北原 眞実

大妻コタカ賞
「華」
(エックアート)
あだち 三和子



日本手芸作家連合会会長賞
「千代の華」「小姫」
(御殿毬) (能面)
菅原 美東



審査委員長賞
「清露」
(ヨーロッパ刺繍)
召田 晃子

皆様のご協力により、第43回創作手工芸展を盛会に開催することができました。有難うございました。今年度は多数の公募を頂きました。続く第44回も変わらず、皆様の力作を期待いたします。作品も多岐にわたり各領域を超えた交流が重要であり、当会の発展へとつながる原動力となると思います。温かいご協力に感謝しつつ。

(財)日本手芸作家連合会副会長 石井 とめ子

第一回講習会レポート

今回初めての試みとして、新理事に就任なさいました浅野啓子先生を中心にクリスマスにぴったりのツリーの刺繍(ヨーロッパ刺繍)の講習会を行いました。

講習会当日の11月13日は好天候に恵まれ、会員・一般・学生合わせて35名の方々にご参加を頂きました。お帰りの際には「楽しかった」「来てよかったわ」のお言葉を頂いた上に、80セットのキットも完売出来、成功のうちに終了することが出来たと思っております。

当連合会評議員の「越前屋」多崎次郎様のご厚意により無料で会場を拝借させて頂き、新理事相澤ふみ江先生、評議員本間美都子先生、高木弘佳先生にも応援を頂き、リーフレットの作成、キット作りと物づくりの楽しさを味わいながら智恵を出し合い、和気藹々のうちに開催の運びとなりました。

当連合会は各分野の先生が沢山会員でいらっしゃいます。今後第2回、第3回と分野の違う講習会等を各先生のセンスで続けて行くことが出来ましたら、将来事業化へとつなげていく道も開けてくるのではないかと思います。

次回も皆様のご参加を心よりお待ちしておりますので、ふるってご参加下さい。

ヨーロッパ刺繍

「ビーズとスワロフスキーの入った美しいクリスマスツリーの額」の講習会



第二回講習会のお知らせ

「輪針で作る帽子」

講師：道家絢子

日程：平成23年3月12日（土曜日）

時間：10：00～16：00

費用：一般3,800円 会員3,500円

定員：20名

会場：(株)越前屋8F会場（東京駅より徒歩5分）

これからの講習会予定

4月「刺繍」講師：渡邊弘子

5月「粘土工芸」講師：庄子悦子

6月「袋物工芸」講師：相澤ふみ江

ご希望の方は事務局にご連絡下さい。

——— 改定のお知らせ ———

平成23年4月1日より入会金・年会費が下記のように改定になりました。

より多くの皆様に、手工芸を通して、つくる喜び、感動の世界を知っていただきたいと思っております。

愛好家の方々に活動の場を提供し、技術向上のための環境を充実させていくのが当会の使命と考え、正会員のほかに準会員制を設け、下記のように入会金・年会費を改定しました。

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| ・正会員 | 入会金 3,000円 | 年会費 5,000円 |
| ・準会員(学生等) | 入会金 無料 | 年会費 2,500円 |

新入会員に対し正会員証を発行いたします。

2011年会員展覧会のお知らせ

IMIKO.DOI ニードル・ワーク展

土井イミ子・カトリア支部 土井教室

ライラックの会 刺繍展

森田富士子・ライラックの会 東京教室・湘南教室・静岡教室

会 期：2011年4月8日(金)～2011年4月10日(日)

開催時間：10：00～19：00

会 場：代官山ヒルサイドプラザ

代官山ヒルサイドプラザにおいての作品展は今回が最後になります。

会 期：2011年5月10日(火)～2011年5月15日(日)

開催時間：10：00～18：00

会 場：東京銀座清月堂ギャラリー 1階・2階

2010年会員展覧会報告



ガラスアート・ アルティンジェレ 卒業作品展

2010年3月25日(水)～30日(火)

アートブックショップ
abc-gallery
名取佳子



スタイリッシュ・ ヨーロッパ・ アートフェア

2010年5月5日(水)～11日(火)

丸善・丸の内本店
4階ギャラリー

浅野啓子



ガラスアート コレクション展 2010 in 信州

2010年5月14日(金)～16日(日)

茅野市民館
市民ギャラリー

相澤ふみ江



東友会 ハータンガー 刺繍作品展

2010年9月27日(月)～
10月2日(土)

千疋屋 ギャラリー

本橋雅恵



ボビンレース展2010 ～植物たちの音色～

2010年10月14日(木)～19日(火)

札幌大同ギャラリー

富澤千寿



～Embroidery Salon
Freesia～

"Exhibition"

—中本貴子とその
家族展へようこそ—

2010年11月2日(火)～7日(日)

ギャラリー
サロン ドフルール

中本貴子

菅原美東

福岡市立美術館の作品展示 (文化連盟主催・年1回)
ふくおか県民文化祭作品展示 (年1回)
北九州市立湯川センター講師 (月2回・展示年1回)
福岡市立公民館講師 (月2回・展示年1回)
西日本新聞TNC文化サークル講師
小学校夏休みの粘土細工講師

冬季は高齢者に押絵、羽子板、さげもん講習
地域の人々と楽しく交流し、社会福祉に貢献してい
ます。

これまでの会員の活動報告

富田光枝

ある施設の入居者の皆さんは創作花が気に入り、
出来上がると「わっ素敵!」「わっ綺麗」と笑顔で
自作の花を抱きしめられます。褒め言葉も上手です。
私は現在高齢者施設数ヶ所と、地域の文化クラブで
手芸指導をしております。どの施設も職員と入居者
の礼儀正しさには感心します。これからも皆さんに
喜んでいただけるような手芸指導を続けたいと思
います。

お知らせのページ

新理事のご挨拶

相澤 ふみ江

新理事にご推薦のお話をいただきました当初は、大任にてとてもお引き受けできないと思っておりました。再三のご推薦もさるころながら、花村会長先生の「火中の栗を拾う」とのお言葉に心を打たれお引き受けすることにしました。日本経済が低迷する中、当連合会も試練の時ではありますが、幼少の頃、可愛がって下さった犬妻コタカ先生へいのご恩返しのためで精進する所存です。

管原 美東

九段坂を上り靖国神社の英霊に拝礼して犬妻大学のキャンパスに着きました。昨年には思いもよらず、理事の列に加えて頂き有難く思っています。

野見山朱鳥

「初みくじ神のこぼを樹にさかせ」

九州では霧島の新燃岳の噴火、鶏のインフルエンザ等大変です。私達は技能者です。技を抑え奇をてらわず、真実の精神を求め風雅の道を求めて歩みたいと思っています。

富田 光枝

この度、理事に任命されましたことの、責任の重さに戸惑っております。私は、柳葉会長の時に入会させていただきました。直後、教室長、教授の資格を取得しました。地方での研修旅行。(親睦をかねた)新宿文化センター。渋谷東急プラザ、上野都美術館での展覧会。色々なことを学び、すばらしき人々との出会いに感謝しております。これからも一生懸命連合会の発展の為に協力させていただきたいと思っております。

新会員募集のお知らせ

6月まで入会キャンペーンをやっております。6月までに本連合会に入会の方は入会金が無料になります。

また、これまで正会員のみでしたが、本年度から準会員も募集いたします。準会員は学生さんやお教室のお弟子さん、これから手工芸について学びたいと考えている一般の方などが対象です。準会員の年会費は2,500円です。

本連合会では講習会やいろいろなイベント等で正会員・準会員の方々の活動や勉強のサポートをしていきます。

入会申込書は8頁にありますので、拡大コピーしてお使い下さい。

同好会のお知らせ

このたび、本連合会で同好会活動ができるようになりました。会員同士の交流活動の一つとして楽しくご参加下さい。新同好会は、以下の3同好会です。

俳句同好会(代表:管原美東)

刺繍同好会アンジェリーナ(代表:浅野啓子)

GPM(ガラス・ポーセリン・メタル)研究同好会

(代表:相澤ふみ江)

同好会に入部希望、または新しい同好会を発足させたい方は事務局に必要事項をお問い合わせ下さい。

浅野 啓子

一般より世界的な経済恐慌、日本経済も同様、百年に一度の経済低迷。当連合会も困窮を窮めている最中、花村邦昭様が新会長に御就任され、そのご挨拶の中で「火中の栗を拾いに来た」「連合会は決して潰さない」とおっしゃられたお言葉には感激致しました。

43年肅々と守ってこられた先人の諸先生方の大事な思いの灯を消してはならないと思い、微力ながら理事の末席をお受けさせて頂きました。

一燈を提げて暗夜を行く 鈴木 正太

家の近くの善福寺川緑地公園を散歩した。朝の澄んだ空気の中、野鳥のさえずりが聞えてくる。良く見ると、この寒さの中、桜も花水木も木蓮も蕾をふくらませている。もう少しすると見事な花を咲かせ、私達を楽しませてくれることであろう。散歩をしながらいつも、自然のエネルギーの強さと素晴らしさを感じさせる。

私の座右の書、佐藤一斎の『言志四録』に次のような言葉がある。「一燈を提げて暗夜を行く。暗夜を憂え頭を抱え込んでも始まらない。世の中が悪いといって嘆いていても何も生まれてこない。さりとて暗夜を右往左往して走り回ったらかえって危険である。足元をしっかりと見つめ、自分自身を信じ、堅忍不拔の向上心をもって一步一步あるいていくしかないと言っているのかもしれない。

私達はこの寒空のもとでじっと耐えて待っているだけでは、ただ凍死してしまうだけだ。自分の力で、自分の手で、自分の中に新しいエネルギーを蓄えていかなければ春は来ないのかもしれない。「春よ来い、早く来い」と念じつつ、一燈を頼み、春を創出していかなければ、春は来ないのかもしれない。

新評議員に任命された皆さん

池田 節子・大網 美代子・沖 明
佐久間 恭子・鈴木 章子・田京 はるみ
中村 幸雄・原田 泰子・堀木 れい子
松本 志津美・道家 絢子・山見 博康

(12名・敬称略)

展覧会の後援のお知らせ

本連合会では、会員の皆様の後援をしております。展覧会の案内ハガキ・ポスターなどに「後援:(財)日本手芸作家連合会」と明記し、会長の祝電や「お祝いの言葉」を送っていただくことができます。費用は無料ですので、ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

投稿のお願い

編集部では会員の皆様の投稿をお待ちしています。俳句・短歌などの投稿や、展覧会・講習会などの活動報告などありましたらお知らせ下さい。8頁にある用紙を拡大コピーしてお使いいただけます。

